

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8114
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.stl.jp

平和でこそ商売繁盛！民商を大きくしよう！

かけがえのない民商を大きく！第14回定期総会開催

6月14日（土）19時より、名古屋北部民主商工会第14回定期総会を開催し、代議員、評議員41名、来賓合わせ45名が参加しました。（会場：鳩岡の家）安藤副会長の開会宣言のあと、小塩会長が病氣療養中のため、副会長が代わって開会の挨拶。日本共産党のもとむら伸子衆議院議員、岡田ゆき子市会議員、加藤ゆうき市会議員予定候補が来賓挨拶。もとむら議員は「お米が買えないと悲鳴が上がっている。物価が上がり消費税もその分増税になっている。消費税を5%に、インボイスは廃止しなければいけない。参議院選挙では、すやま初美さんを押し上げてほしい」と熱く訴え。また岡田市議は市政報告を兼ね10分間の挨拶。「民商提出のインボイス廃止を求める意見書採択の請願について、昨年9月に委員長が不採択を提案。理由は軽減措置など配慮されているから、とのことだったが、共産党以外の政党は一言の意見もなく、不採択に賛成した。訪問介護の事業所は、報酬が下げられ、赤字が6割。市民の暮らしや営業を守るために、民商の皆さんと力を合わせて頑張りたい」と話されました。事務局の方針提案のあと、4組が発言。東さんは「2019年に、社会保険料の滞納で差押えと言われて、民商に飛び込み危機を脱することができた。コロナ後に、昨年再び、差押えとなったが、2か月に一度、年金事務所に納付計画を持って相談に行き、今年3月、とうとう年金事務所の課長から『この事務所で3本の指に入る滞納だったのに、よく頑張られた。今後は、換価の猶予にできる』と言われた。自分も仕事を増やす努力を続けたが、相談に乗ってもらったおかげ」と述べました。続いて、前田婦人部長から、婦人部の活動報告。「7月6日の総会では、コメ問題での学習会も行いますので、ぜひ参加してください」と呼びかけました。日本共産党の加藤ゆうきさんは、「昨年、原水爆禁止世界大会に参加して衝撃を受けた。今年は、西区からもたくさん人の参加者で行きたいと思い、民商会員にも声をかけている」と話しました。隣に立った鬼東



14期役員のみなさん



宮内 新会長

恵美子さんは、「加藤さんのお話に影響され、原水禁大会の参加を決めました。参加して勉強してきます」と元気に発言。（会場で25,832円のカンパが寄せられました）山口さん、松本さんは、税務調査の経験や、調査後の市税事務所との交渉などについて語りました。

松本さんは「税務調査の10の心得」のパンフレットを掲げ、「これが本当に大切。知らないと不利に追い込まれる」「まだまだ大変だが民商の皆さんと闘っていきます」と元気よく語りました。最後

居酒屋あすかで西支部総会を開催

6月9日（月）18時から、西支部総会を「居酒屋あすか」で行い、8人が参加しました。居酒屋の店主の安斎さんが、5月初旬に骨折したため、開催が危ぶまれましたが、6月1日から営業を再開し、無事行うことができました。民商の常任理事には、新たに40代の若手を推薦することが決まりました。仕出しのお弁当を食べながら、「奥さんが家庭菜園にはまっているが、鳩が来るようになって困っている」など、近況も語られました。カラオケも楽しみ、交流を深めました。お店のなかには、安斎さんの回復とお店の再開を祝って、お客さんから贈られたお花がたくさん置いてありました。

